

多治見砂防国道事務所では、関係機関の連携強化を目的に、平成18年度より管内の6市町村（多治見市、土岐市、中津川市、木曾郡南木曾町、大桑村、上松町）で順次合同防災訓練を実施しています。

今年度は、大雨による大規模土砂災害（同時多発する土石流等）を想定した図上ワークショップ形式で、中津川市、岐阜県及び国土交通省の各機関の対応を確認し、相互の連携強化を図るとともに、災害対応能力の向上を目指しました。

- 【訓練日時】 令和4年6月28日(火) 13:30～16:30
- 【訓練会場】 中津川市中央公民館ホール
- 【参加者】 中津川市、恵那土木事務所、恵那県事務所
岐阜県防災課・砂防課、中部地方整備局
河川部、多治見砂防国道事務所 **約40名**
- 【視察者】 土岐市、東濃県事務所、多治見土木事務所



【ステージ1】
←大規模土砂災害発生時の対応を各組織から発表

【ステージ2】
3班に分かれ、①孤立集落発生時の対応、②二次災害のおそれのある土石流の対応について、意見交換。

○開会のあいさつ○



中津川市長



多治見砂防国道事務所長



【ステージ2】意見交換



【ステージ2】まとめ



会場全体の様子



恵那土木事務所副所長

DIG型式訓練は、各機関がどのタイミングで何をするのか理解できる実践的な訓練だった。

○講評○

災害発生時には、お互いに連携をとりながら防災力を発揮して対応していくことをお願いしたい。



中部地方整備局河川部 広域水管理官